

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名	学校法人いわお学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
衛生専門課程	理容科	夜・通信	35 単位 (1,050 時間)	7 単位 $80 \times 2 = 160$ 時間	
	美容科	夜・通信	35 単位 (1,050 時間)	7 単位 $80 \times 2 = 160$ 時間	
		夜・通信			
衛生専門課程	プロスタイリスト科	夜・通信	49 単位 (1,470 時間)	10 単位 $80 \times 3 = 240$ 時間	
		夜・通信			
(備考) () 内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条(経過措置)」に基づき「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を併記している					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ上に公開
<https://www.nhc.ac.jp/cms/wpcontent/uploads/2026/06/jitumukeikeikenshajugyoku%E3%80%80.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名	学校法人いわお学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ上に公開

<https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/rijimeibo.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員 (H2. 04. 01～)	H17. 04. 01 ～ R11年度の定 時評議員会 の終結の時	経営に関する助言
非常勤	会社役員 (S62. 04. 01～)	H31. 04. 01 ～ R11年度の定 時評議員会 の終結の時	教育・生徒募集に 関する助言
非常勤	会社役員 (H29. 07. 01～)	R07. 06. 09 ～ R11年度の定 時評議員会 の終結の時	人材育成に 関する助言
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名	学校法人いわお学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画は、毎年1月から3月にかけて、新年度における各授業科目の担当講師体制決定後、既存の授業計画書を基に作成している。作成にあたっては、教育課程編成委員会からの意見や教科書改訂等の状況を踏まえ、新年度の授業計画を策定している。 また、年度当初の授業において、学生に対して授業計画の説明を実施し、内容理解の促進に努めている。さらに、授業計画については、本校ホームページ上に公開している。	
授業計画書の公表方法	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/info-disclosure/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 各科目については、毎学期末に定期試験を実施し、その結果に基づき厳格かつ適正な成績評価を行った上で、単位を付与している。 また、試験において不合格となった学生に対しては、事前に周知した追試験日程に向けて補講を実施し、合格基準に達するまで継続的かつ丁寧な指導を行うことで、学生全員が単位を取得できるよう支援に努めている。 さらに、各学期において担任及び副担任が学生一人ひとりと個別面談を実施し、学習意欲や生活態度等の状況をきめ細かく把握しながら、必要に応じた支援を行っている。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 試験結果に基づき、各教科及び学年ごとのGPAを算出し、その分布状況を本校ホームページに追試験に向けた学習指導及び個別面談においては当該GPAを参考指標として活用し、学生ごとの目標設定や成績区分に応じた指導を実施している。また、評点については、各学期末に実施する定期試験の結果に加え、出席状況及び授業態度等を総合的に評価した上で決定し、通知表を通じて学生及び保護者に通知している。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/GPA.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定にあたっては、全課目において評価が「3」以上であることを要件とする。卒業の可否については、校長、主任、担任および事務局長により構成される「卒業判定会議」における審議を経て決定する。各課目の評価は、原則として判定試験の成績に基づき決定する。ただし、必要に応じて、授業への取り組み状況、出席状況その他の学習態度を総合的に勘案し、評価に反映することがある。また、全課目において出席率 100%を原則とし、欠席が生じた場合には、補習等により当該時間数を補完しなければならない。なお、欠課時間数が別に定める基準を超えた場合には、当該課目の評価対象外とする。

- ・実習を伴わない課目：出席数が3分の2に達しない者
- ・実習を伴う課目：出席数が5分の4に達しない者

また、各課目終了後の判定試験において 60 点（評価 3）に満たない場合でも必要に応じて追試験の機会を設け、一定の条件のもとで再評価を受けることを可能とする。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページ上に公開

<https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/sotugyouninnte.pdf>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名	学校法人いわお学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/taishakutaishouhyou.pdf
収支計算書又は損益計算書	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/jigyokatudoushuushikeisannsho.pdf
財産目録	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/zaisanmokuroku.pdf
事業報告書	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2026/07/jigyohokokusho.pdf
監事による監査報告（書）	ホームページ上に公開 https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/kansahoukokusho.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	67 単位 (2,010 時間)	17 単位, 510 時間	7 単位 210 時間	43 単位 1290 時間		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140 人		49 人	0 人	10 人	14 人	24 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 理容師養成施設指定規則に定める課目に則り、卒業時に国家資格取得を目指すとともに、現場との連携を密にし、現場で求められる即戦力の育成に繋がる内容を盛り込んでいく。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 判定試験結果に基づき、課目別及び学年別の GPA を算出し、その分布状況については本校ホームページにおいて公表している。また、追試験に係る指導及び個別面談においては、当該 GPA を活用し、学生ごとの到達目標の設定並びに成績区分に応じた学習指導を実施している。	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 進級及び卒業については、全ての教科・課目において「評価 3」以上を修得することを要件とし、最終的には、校長、主任、担任及び事務局長により構成される「卒業・進級判定会議」の審議を経て決定する。各教科・課目の成績評価は、原則として期末試験の結果に基づき行うものとする。ただし、必要に応じて、授業態度、出席状況その他の学修状況を総合的に勘案する場合がある。また、全ての教科・科目において所定の出席を求めるものとし、欠席が生じた場合には補習等により補完することができる。ただし、欠席時間数が授業時間数の 3 分の 2（実習を伴う教科・課目にあっては 5 分の 4）を超えた場合は、補習の実施の有無にかかわらず、成績評価の対象外とする。なお、判定試験の結果が 60 点（評価 3）未満である場合においては、追試験を受験し、所定の基準を満たした場合には、成績評価を行うことがある。	
学修支援等	
（概要） 担任、副担任及び主任による指導体制を整備し、日常的な学生の状況及び変化について継続的かつ細やかな把握に努めている。また、複数の教職員が学生支援に関与することにより、学生が相談しやすく、かつ相談相手を選択できる体制を構築している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
35 人 (100%)	0 人 (%)	31 人 (88.6%)	4 人 (11.4%)
（主な就職、業界等） 理美容業界（理容師、エステティシャン、グルーミニスト）			
（就職指導内容） アンケート及び個別面談を通じて学生一人ひとりの進路希望を把握するとともに、関連企業が運営する理美容サロン情報ポータルサイト及び就職支援サイトを活用し、個別面接指導を中心とした就職支援及び採用試験対策を実施している。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理容師国家資格（受験 35 人 合格者 32 人）			
（備考）（任意記載事項）			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数		中退率
58 人	3 人		5.2%
（中途退学の主な理由） 学業不振、学校生活不適合			
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、副担任及び主任を中心とした指導体制のもと、日常的に学生一人ひとりの生活態度及び状況変化の把握に努め、必要に応じて個別面談を実施している。また、保護者との連携を重視し、状況に応じて保護者を含めた三者面談を実施することで、学生の状況共有及び適切な支援体制の構築に努めている。さらに、退学を希望する学生に対しては、退学後の進路や将来設計が十分に定まっていない場合、可能な限り休学を勧奨し、将来的な復学機会を確保できるよう配慮している。			

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	67 単位 (2,010 時間)	17 単位 510 時間	6 単位 180 時間	44 単位 1320 時間		
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		210 人	0 人	16 人	15 人	31 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 美容師養成施設指定規則に定める課目に基づき、卒業時における国家資格の取得を目指すとともに、関係業界及び現場との連携を密に図り、実務現場において求められる知識及び技能を備えた即戦力となる人材の育成に資する教育内容を充実させる。
成績評価の基準・方法
（概要） 判定試験結果に基づき、課目別及び学年別の GPA を算出し、その分布状況については本校ホームページにおいて公表している。また、追試験に係る指導及び個別面談においては、当該 GPA を活用し、学生ごとの到達目標の設定並びに成績区分に応じた学習指導を実施している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級及び卒業については、全ての教科・課目において「評価 3」以上を修得することを要件とし、最終的には、校長、主任、担任及び事務局長により構成される「卒業・進級判定会議」の審議を経て決定する。各教科・課目の成績評価は、原則として期末試験の結果に基づき行うものとする。ただし、必要に応じて、授業態度、出席状況その他の学修状況を総合的に勘案する場合がある。また、全ての教科・科目において所定の出席を求めるものとし、欠席が生じた場合には補習等により補完することができる。ただし、欠席時間数が授業時間数の 3 分の 2（実習を伴う教科・課目にあっては 5 分の 4）を超えた場合は、補習の実施の有無にかかわらず、成績評価の対象外とする。なお、判定試験の結果が 60 点（評価 3）未満である場合においては、追試験を受験し、所定の基準を満たした場合には、成績評価を行うことがある。
学修支援等
（概要） 担任、副担任及び主任による指導体制を整備し、日常的な学生の状況及び変化について継続的かつ細やかな把握に努めている。また、複数の教職員が学生支援に関与することにより、学生が相談しやすく、かつ相談相手を選択できる体制を構築している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
80 人 (100%)	1 人 (1.2%)	73 人 (91.3%)	6 人 (7.5%)
（主な就職、業界等） 理美容業界（美容師、アイスタイリスト、ネイリスト）			
（就職指導内容） アンケートや個別面談を通じ、各人の希望を把握するとともに、関連企業が運営する理美容サロンのポータルサイトや就職支援サイトを活用し、個別面接指導を中心に 入社試験対策を行う。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 美容師国家資格（受験 80 人 合格者 75 人）			
（備考）（任意記載事項）			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数		中退率
190 人	16 人		8.4%
（中途退学の主な理由） 学業不振、学校生活不適合			
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、副担任及び主任を中心とした指導体制のもと、日常的に学生一人ひとりの生活態度及び状況変化の把握に努め、必要に応じて個別面談を実施している。また、保護者との連携を重視し、状況に応じて保護者を含めた三者面談を実施することで、学生の状況共有及び適切な支援体制の構築に努めている。さらに、退学を希望する学生に対しては、退学後の進路や将来設計が十分に定まっていない場合、可能な限り休学を勧奨し、将来的な復学機会を確保できるよう配慮している。			

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
衛生		衛生専門課程	プロスタイリスト科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼 間	93 単位 (2, 430 時間)	10 単位 225 時間	3 単位 60 時間	80 単位 2145 時間		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		56 人	0 人	10 人	3 人	13 人	
カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）							
（概要） 高校卒業後に理美容サロンへ就職した新入社員に対し、サロン業務に必要なマナーや接客術を指導するとともに、国家資格を必要としない施術（ヘッドケアやネイルケアなど）を中心に実践的な技術を習得させる。これにより、習得した技術を即戦力として現場で活用できるようにし、職場での自己の居場所を確立させると同時に、仕事へのやりがいや達成感を育む。結果として、職場への定着率の向上と、さらなる技術習得への意欲の醸成を目指す。							
成績評価の基準・方法							
（概要） 試験結果に基づき、課目別および学年別に GPA を算出し、その分布状況を本学ホームページ上にて公表しております。また、追試験に向けた学習指導や個別面談においては、GPA を参考指標として活用し、目標値の設定や成績ランクに応じた指導を実施しております。成績評価については、判定試験の結果に加え、出席状況等を総合的に勘案し、適切に評点を決定しております。							
卒業・進級の認定基準							
（概要） 進級及び卒業については、全ての教科・課目において「評価3」以上を修得することを要件とし、最終的には、校長、主任、担任及び事務局長により構成される「卒業・進級判定会議」の審議を経て決定する。各教科・課目の成績評価は、原則として期末試験の結果に基づき行うものとする。ただし、必要に応じて、授業態度、出席状況その他の学修状況を総合的に勘案する場合がある。また、全ての教科・科目において所定の出席を求めるものとし、欠席が生じた場合には補習等により補完することができる。ただし、欠席時間数が授業時間数の3分の2（実習を伴う教科・課目にあっては5分の4）を超えた場合は、補習の実施の有無にかかわらず、成績評価の対象外とする。なお、判定試験の結果が60点（評価3）未満である場合においては、追試験を受験し、所定の基準を満たした場合には、成績評価を行うことがある。							
学修支援等							
（概要） 担任、副担任、学年主任による体制のもと、日常的に学生の態度や行動の変化に対してきめ細やかな観察と対応を行っております。また、できる限り多くの教職員が学生と関わることで、学生が相談しやすく、また相談相手を自由に選べる環境づくりに努めております。							

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (100%)	0 人 (0%)
（主な就職、業界等） 理美容業界（理容師・美容師）			
（就職指導内容） 既に理美容サロンに就職した者が学ぶ科であり、就職指導を必要としない			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理美容師国家資格（受験 9 人 合格者 8 人）			
（備考）（任意記載事項） 併用している通信課程を受講しているため			
中途退学の現状			
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率	
38 人	1 人	2.6%	
（中途退学の主な理由） 進路変更			
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任、副担任および学年主任による体制のもと、日常的に学生の生活態度や行動の変化等についてきめ細やかな観察を行い、必要に応じて個別面談を実施しております。また、保護者との連携を重視し、状況に応じて保護者を交えた三者面談を行うなど、学生の支援に努めております。さらに、退学を希望する学生に対しては、退学後の進路が明確でない場合には、可能な限り休学を提案し、将来的な復学の可能性を確保するよう配慮しております。			

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	180,000 円	(620,000 円)	600,000 円	() 内は1年次の年間授業料
美容科	180,000 円	(620,000 円)	650,000 円	() 内は1年次の年間授業料
プロスタイリスト科	180,000 円	(520,000 円)	280,000 円	() 内は1年次の年間授業料
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
・本来、半期払いのところを希望者には日本学生支援機構奨学金の貸与を条件に月次分割払いにも対応している。 ・A0 入試特典 教材費 40,000 円免除 ・指定校推薦入試特典 教材費 40,000 円免除 ・家族入学特典 (卒業生・在校生) 2 年目教材費 40,000 円免除 ・友人入学特典 (3 名同時入学) 2 年目教材費 40,000 円免除 ・2 世入学特典 (理美容サロンオーナーご子息・ご令嬢) 2 年目教材費 40,000 円免除				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/jikokyouka.pdf		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価委員会の提言を踏まえ、学校運営や教育活動等ガイドラインの各評価項目について改善する等により、学校の「質」の向上を図ることを基本方針とする。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
日本理容美容協同組合	2016 年 4 月 1 日～ 2028 年 3 月 31 日 (任期更新)	企業等委員
アクティブグループ	2016 年 4 月 1 日～ 2028 年 3 月 31 日 (任期更新)	企業等委員
株式会社 NAVI	2016 年 4 月 1 日～ 2028 年 3 月 31 日 (任期更新)	企業等委員
有限会社セサンク	2024 年 4 月 1 日～ 2028 年 3 月 31 日 (任期更新)	企業等委員
株式会社ダリア	2016 年 4 月 1 日～ 2028 年 3 月 31 日 (任期更新)	企業等委員
株式会社スマートスタイル	2016 年 4 月 1 日～ 2028 年 3 月 31 日 (任期更新)	企業等委員

株式会社 ZENON	2016 年 4 月 1 日～ 2028 年 3 月 31 日 (任期更新)	企業等委員
第三者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nhc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2026/06/jikokyouka.pdf		
(備考)		
第三者評価は実施しておらず、評価の基本方針および評価の委員については学校関係者評価の内容を記載している。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nhc.ac.jp/info-disclosure/
--

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H127310001897
学校名（〇〇大学 等）	理容美容専門学校西日本ヘアメイクカレッジ
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人いわお学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		120人（ 65 ）人	110人（ 56 ）人	122人（ 66 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	57人	47人	
	（うち多子世帯）	（ 21人）	（ 13人）	
	第Ⅱ区分	13人	14人	
	（うち多子世帯）	（ -人）	（ -人）	
	第Ⅲ区分	12人	12人	
	（うち多子世帯）	（ -人）	（ -人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	19人	19人	
	区分外（多子世帯）	19人	18人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				122人（ 66 ）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	-人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	0人	0人	-人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	-人
(備考) 退学時に実施した適格認定判定も含めた結果を計上			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
年間	0人	前半期	後半期
		0人	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考) 措置	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	-人	-人	0人
計	-人	-人	0人
(備考) 退学時に実施した適格認定判定も含めた結果を計上			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。